

朝礼 校長講話（5月15日）

先ほど、生徒指導の先生から、「1年生の整列がとてもよかった」という話がありました。先週、1年生の子たちはオリエンテーション合宿へ行ってきました。そこで、さまざまな活動を通して、新しい仲間づくりと中学生としてどうしたらよいのかを学んできました。先生も一緒に行きましたが、みんなとてもしっかりとした活動をしてきたことを、今日、2年生、3年生のみなさんに報告したいと思います。1年生は、それとほぼ同時進行で部活動についても仮入部が本格的に始まり、朝練習や土曜日・日曜日や毎日の練習など、こちらも中学生としての生活が始まってきています。ぜひがんばってほしいと思います。

さて、昨日は市内の小学校区ごとで「学区体育祭」が行われました。部活動がありませんでしたので、多くの子が地域の一員として参加してくれたのではないかと思います。また、器具係や招集係、賞品係などのお手伝いとして参加してくれた子もたくさんいます。先生は3つの会場をすべて回りましたが、そこで、「中学生の子たちが本当によく働いてくれるから、ありがたい」という言葉をいただきました。

そんな学区体育祭でこんなことがあったそうです。桜・日の出小学区の開会式で、もうみんな並んでいるのに、時間も来ているのになかなか開会式が始まらず、みんな、「どうしたんだろう」「何かあったのかな」と周りを見回しざわざわする時間帯があったようです。その時に、司会をしてみえた方が、

「なんで、開会式が始まらないか分かりますか？」

「小学生の子がなかなか静かにならないから始められないのです」

と言われました。おそらく、桜小の子も日の出小の子も普通の学校では、こういう朝礼などみんなが集まる場所ではしっかりとした態度で臨むことができる子たちだろうと思いますが、ひとたび学校から離れた場所、学校ではない時間になると、なぜかそれができません。

みなさんは学校でちゃんとできることを目標にしているわけではありません。ずっとここにいるわけではないのですから、学校ではないところや休日などに、学校でできていることがそこでもできることが大切なのです。そのことはすぐにできるようにはなかなかならないので、学校でのさまざまな活動を通してその力を身につけていくことが必要になります。がんばりましょう。